

立命館大学グローバル COE プログラム  
「歴史都市を守る『文化遺産防災学』推進拠点」最終報告会

# 文化遺産を災害から守り 継承していくために

2008 年度に開始致しました文部科学省グローバル COE プログラム「歴史都市を守る『文化遺産防災学』推進拠点」も本年度が最終年度となりました。この間、国内外の歴史都市や文化遺産を自然災害から守り継承するための研究活動ばかりでなく、地域住民との防災活動やユネスコとの協働による文化遺産防災・国際研修などを行ってまいりました。

近年、地震や豪雨による文化財の被害が毎年のように報告されております。多くの人々の努力によって奇跡的に受け継がれてきた文化遺産を後世に残すための活動は、我々の責務であり終わりはありません。

本報告会は、この 5 年間の活動紹介とともに活動の総集編としてまとめました「文化遺産防災ハンドブック」についても紹介します。

## ■日時

2012 年 12 月 8 日（土）13:30 - 17:40

## ■会場

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス  
プリズムホール

## ■主催

立命館大学グローバル COE プログラム  
歴史都市を守る「文化遺産防災学」推進拠点、  
立命館大学歴史都市防災研究センター

## ■入場無料・申込不要

## ■交通アクセス

JR南草津駅より近江鉄道バス「立命館大学行き」または、立命館大学経由「飛鳥グリーンヒル行き」で約10分

## ■案内図



## ■プログラム

13:00 開場

13:30-13:40

開会の辞

川口清史（立命館大学総長）

13:40-14:30

基調講演

文化財の継承保存と防災

～京都御所と冷泉家住宅・典籍をめぐる～

冷泉為人（(財)冷泉家時雨亭文庫 理事長・立命館大学特別招聘教授）

14:30-14:45

G-COE 文化遺産防災学推進拠点の趣旨

大窪健之（拠点リーダー）

14:45-15:00 休憩

15:00-16:30

拠点研究活動成果の報告

1) 京都の歴史災害と文化財

吉越昭久, 山崎正史

2) 文化遺産を核とした周辺地域の防災環境整備

深川良一, 小川圭一

3) 文化遺産防災のハンドブック

大窪健之

16:30-17:00

国際貢献・教育活動成果の報告

1) 国際プロジェクトの活動

共同研究報告 谷口仁士

ユネスコ・チェア国際研修報告 板谷直子

2) 教育等の活動成果について

伊津野和行

17:00-17:15 休憩

17:15-17:30

外部評価委員会からのコメント

17:30-17:40

閉会の挨拶

土岐憲三（立命館大学歴史都市防災研究センター センター長）

18:00-19:30 交流会（会費1,000円）

## <問い合わせ先>

立命館大学 G-COE 文化遺産防災学推進拠点事務局

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

Tel : 077-561-5083 Fax : 077-561-3418

Email : heritage@st.ritsumeii.ac.jp

